

経営比較分析表（令和2年度決算）

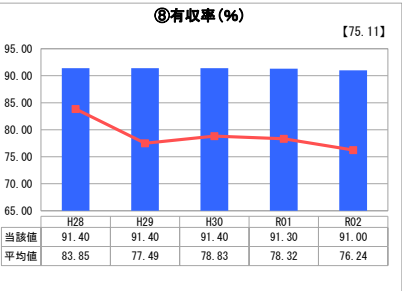
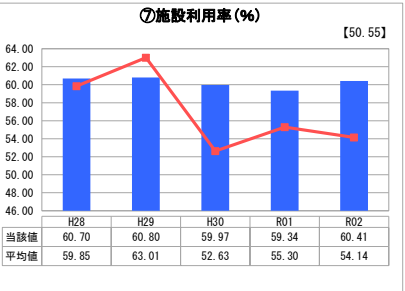
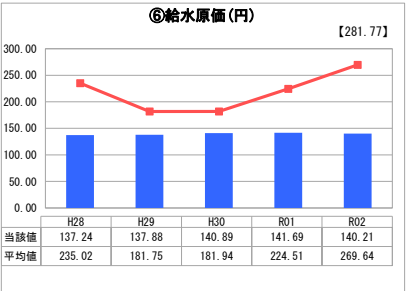
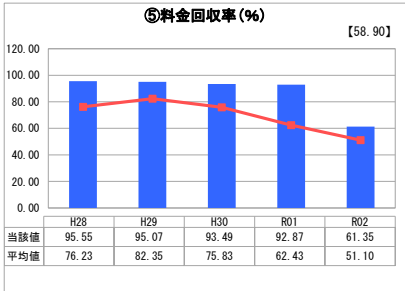
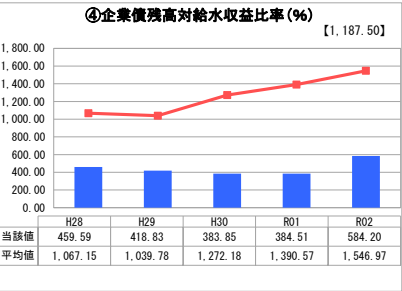
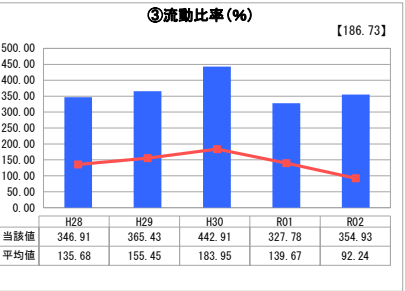
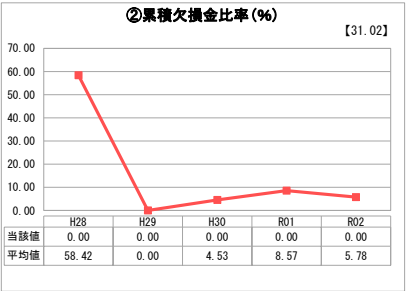
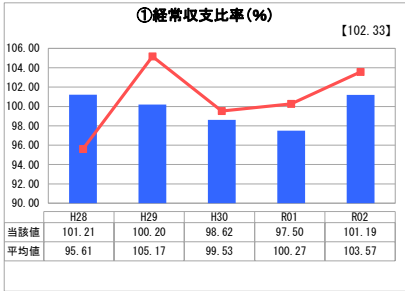
岡山県 和気町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	簡易水道事業	C2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	67.23	60.89	2,612	

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
13,867	144.21	96.16
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
8,437	27.11	311.21

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①令和2年度は令和元年度に比べ、委託料が減少している。その結果100%を上回っている。

②当該数値より、健全な経営が保たれている。

③類似団体と似た変動であるが、比率は100%を超えているので健全性が保たれている。

④類似団体とは違い少ない傾向にあるが、企業債を財源とした施設の更新を行ったため、数値が上昇した。

⑤類似団体より高い水準ではあるが、100%を下回っており、費用が給水収益で賄えていないことが分かる。持続可能で健全な事業であるために、適切な料金収入の確保に努める。

⑥類似団体に比べて大きな変動はなく、低い水準となっている。引き続き、適切で効率的な維持管理に努める。

⑦止むが効かない人口減少により、過疎化が進み、年々施設の稼働率が減少している。将来の人口規模を見据え、ダウンサイジング・広域化等を行って規模の適正化を図っていく必要がある。

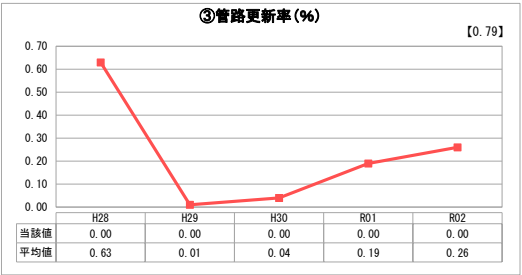
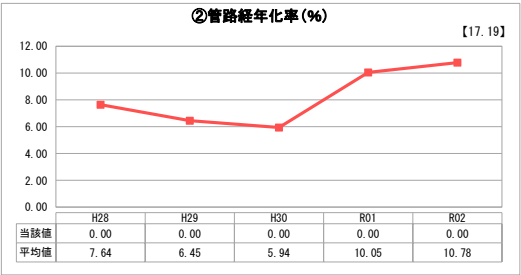
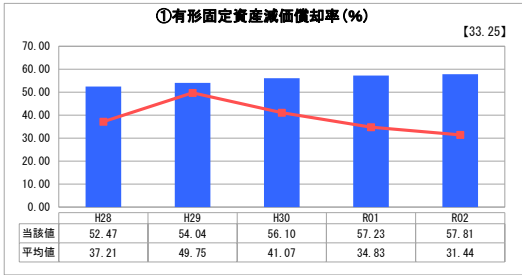
⑧類似団体より高い水準ではあるものの、水源地の能力が逼迫しているため、一層の維持管理に努める必要がある。

2. 老朽化の状況について

①老朽化の状況については、有形固定資産減価償却率が上昇傾向になっており、保有資産の法定耐用年数が近づいてきている。

②管路経年率及び③管路更新率については、低い水準になっているが、保有資産の計画的な更新を進めていく必要がある。

2. 老朽化の状況



全体総括

経営の健全性に向けて、さらなる維持管理の効率化で経費削減に努め、適正な料金改定を進める必要があります。また、施設の老朽化に備え、浄水・配水施設や管路等の計画的な更新を進め、健全な事業運営に努める。